

写真展
岩合光昭の
世界ネコ歩き2

Mitsuaki Iwago's World "cats" Travelogue Photo exhibition

【同時開催】野外写真展「ねこ科」—身近なイエネコからライオンまで—



©Mitsuaki Iwago

©Iwago Photographic Office

7月17日(土) ▶ 9月26日(日)

美術館アートコア・野外

時間：10：00～17：00（最終入場 16：30）

会場：美術館アートコア および野外

料金：一般 800 円(600 円)、

中学・高校生 500 円(400 円)、

65 歳以上・障がい者半額、

小学生以下・障がい者の介護者

(当該障がい者 1 人につき 1 人) 無料

* () 内は 20 人以上の団体料金

企画展入場予約制

日時指定の入場予約制につき、招待券などの無料入場者も、当館ホームページからご予約ください。

※野外写真展「ねこ科」は、観覧無料・予約不要

「ネコは人間とともに世界に広まった。だからその土地のネコはその土地の人間に似る」と語る動物写真家・岩合光昭。本展は、世界 60 カ所以上の地域で出会ったネコたちの写真作品を中心に、およそ 150 点を展示します。ネコたちの愛らしい表情や仕草、一瞬の動きをとらえた写真は、多くの人々を魅了し、癒されることでしょう。ご家族お揃いで「岩合ワールド」をお楽しみください。



いわ こう みつ あき
岩合光昭

1950 年東京生まれ。地球上あらゆる地域をフィールドに活躍する動物写真家。身近なネコを約半世紀以上ライフワークとして撮り続けている。

岩合光昭さん
トーク&サイン

日時：8月29日(日) ① 11：00～12：30 ② 14：00～15：30

会場：美術館アートコア ミュージアム-2

定員：各回 100 人

申込方法：往復はがき／返信裏面に下記の 1)～3)、返信表面に住所・氏名をご記入のうえ、お申し込みください。

- 1) 申込希望時間番号 (①・②のいずれかの番号)
- 2) 代表者の氏名、住所、電話番号
- 3) 参加者 (代表者含め 2 名まで) の氏名、住所 (代表者と異なる場合)

〒919-0806 あわら市宮谷 57-2-19 金津創作の森美術館「岩合さん」係まで

応募多数の場合は、抽選のうえ、当落を記載したはがきを 8 月 20 日 (金) ごろに発送します。

※記入内容の不備、往復はがき以外でのお申し込みの場合は、無効となりますのでご注意ください。

※サイン会は、当日会場内でご購入いただいた書籍に限ります。(1 人 3 冊まで)

※新型コロナウイルス感染状況により、中止や人数制限をする場合がございます。あらかじめご了承ください。



事前申し込み制

新型コロナウイルス感染症に関する対応について

- 発熱や咳など、風邪の症状が見られる人および、体調の優れない人はご来館をお控えください。
- マスクの着用による咳エチケットや手洗い、消毒液による感染防止対策に、ご協力をお願いします。

- 月曜休館 (祝日の場合開館、翌平日休館)
- (公財) 金津創作の森財団 事務局 TEL.73-7800 <http://sosaku.jp/>
- アンビション (レストラン&森の結婚式) 問合せ アンビション TEL. 73-4141



花菖蒲が見ごろを迎える

◆6月12日(土) 花菖蒲園

約 300 種 20 万本の花菖蒲が見ごろを迎え、あわら北潟湖畔花菖蒲まつりが、12 日から 20 日までの期間で



開催されました。開催初日は、天気にも恵まれ、多くの人たちが花菖蒲園を訪れていました。会場には、花菖蒲の株や天然うなぎ、メロン、スイカを販売している出店があるほか、漁船に乗船し湖上遊覧を楽しめるイベントも開催されました。

訪れた人は、2 年ぶりに開催された花菖蒲まつりを思う存分楽しんでいました。

ご寄付ありがとうございます

◆6月22日(火) 市役所



国際ソプロチミスト福井から、子どもたちの読書活動に役立ててほしいと、児童図書 21 冊を寄付していただきました。この活動は、平成 27 年から毎年行われており、7 年間で 197 冊もの児童図書を芦原図書館に寄付しています。

同団体の坪川会長は「子どもたちの本に親しむ時間を増やしていきたい」と話していました。

目指すは、オリンピックで
メダル獲得!

◆6月23日(水) 市役所



東京オリンピックカヌースプリント女子カナディアンペア 500 メートルに出場する桐明輝子さんが、市役所を訪れ、佐々木市長にオリンピック出場を報告しました。

桐明さんは「大会まで相方と士気を高め合い、皆さんに元気と勇気を与えられるよう頑張りたい」と話していました。



まちかど graffiti では、広報係が取材した“あわらの話題”をお届けします!

※新型コロナウイルス感染症防止対策を行った上で、取材しています。

ふるさとを学び好きになろう

◆6月3日(木) 市内



「吉崎ふるさとウォーク」が行われ、金津小学校 5、6 年生の児童約 150 人が、小学校から吉崎まである「蓮如道」約 10 キロメートルを歩きました。これは、市の歴史に触れることでふるさとを愛し、文化財や伝統を守っていく心を育むために開催されました。

金津小学校をスタートし、千束一里塚、八幡神社 (嫁おどし)、細呂木関所跡、切通しを通過して、吉崎御坊跡へ向かいました。到着した児童たちの顔は、達成感にあふれていました。

地元の海岸をきれいに

◆6月6日(日) 吉崎、北潟

福井県漁業協同組合連合会と北潟漁業協同組合が、北潟浜坂海岸清掃を行いました。この日は、応募したボランティア約 80 人が参加し、北潟海岸や弁天島の海上を約 2 時間かけて清掃しました。



北潟漁業協同組合の田端会長は「この先も続けて、きれいな海岸を維持していく。来年も開催するので、たくさんの人に参加してもらいたい」と話していました。

県自治会連合会会長に達川氏就任

◆6月23日(水) 市役所

福井県自治会連合会の令和 3 年度総会が、6 月 8 日に越前市役所で開催され、新会長にあわら市地区区長会連絡協議会会長の達川昌美さん (古) が選ばれました。



達川会長は「人口減少や少子高齢化、コロナ対策など地域コミュニティーが抱える課題は極めて多い。地域に根差した自治会活動を積極的に行い、地域が元気になるよう頑張りたい」と語ってくれました。